

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	東広島市立郷田小学校		
学校長氏名	兒玉 伸泰	栄養教諭氏名	八重垣 遥
職員数	28名	児童・生徒数	402名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

昨年度の朝食の摂取率は98.5%であり、朝食については食べている児童が多かった。しかし、主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている割合は70.5%と、内容まで考えている児童は少ない。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・朝食の内容を考えて食べることができる児童を90%にする。
- ・朝食に関する保護者の関心度を90%とする。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）生活リズムアンケートの実施（7月, 12月）

生活リズムアンケートを年2回行った。また、生活リズムアンケートの裏面に朝ご飯の大切さについて・朝食向けの給食メニューなどの掲載を行い、保護者にも朝食についての情報提供を行った。

【取組2】（テーマ）食育授業の実施

- ① 6年生担任と栄養教諭によるTTの授業を実施し、朝ごはんを食べることの大切さや、望ましい朝ごはんについて指導を行った。また、学習を活かして、自分たちが考えた朝食を作ってくることを夏休みの課題とした。
- ② 5年生の家庭科にて、だしの重要性や、おいしいみそ汁の作り方について授業を行い、食に関する知識を深めた。

【取組3】（テーマ）PTA 家庭教育講演会の実施

PTA 主催の家庭教育講演会にて、栄養教諭が朝食を食べることの大切さや、6年生に行った食育授業についての報告、簡単に作ることができる朝食についての資料提示等を行い、保護者に啓発を行った。



【取組4】（テーマ）給食と関連付けを図った取り組み

5年生が「山・海・島」体験活動でカレー作りをするために、事前にカレーについての授業を行い、食に対する知識を深めた。また、学習を活かしてオリジナルカレーを考えてくることを夏休みの課題とし、家庭で児童と保護者が一緒に作るという体験を通して、食に対する関心を高めた。さらに、校内カレーコンテストを行い、最優秀作品は給食にて提供した。



【北のいいとこ牛っとカレー】

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

東広島市では、「東広島お宝レシピコンテスト」を実施し、児童・生徒に「熱く！燃えろ！Cスープ」に合うメニューの募集を行った。コンテストにて選ばれたメニューは10月に提供を行った。

また、東広島市生涯学習フェスティバルにて、ひろしま給食100万食プロジェクトについて資料掲示を行ったり、チラシの配付を行い、地域の方への情報発信を行った。

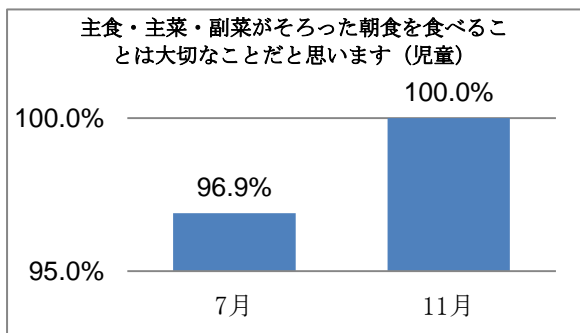
学校では、PTA 家庭教育講演会にて、メニュー紹介と「ひろしまいいこいりこ」の調理実演・試食を行い、保護者へ周知した。さらに、1月の学校だよりにひろしま給食100万食プロジェクトについて掲載し、家庭でも作ってもらえるよう情報提供を行った。



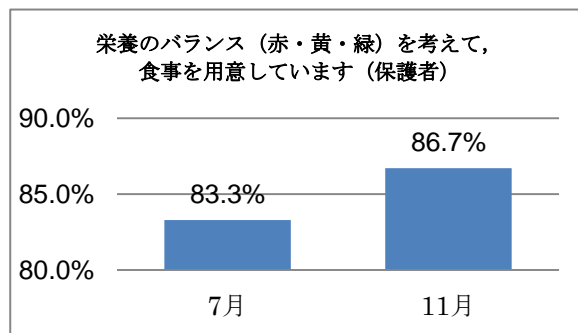
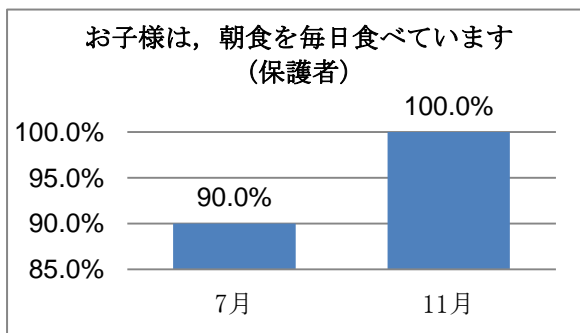
5 取組に対する成果と課題

【成果】

平成29年度広島県「食に関する実態調査」結果

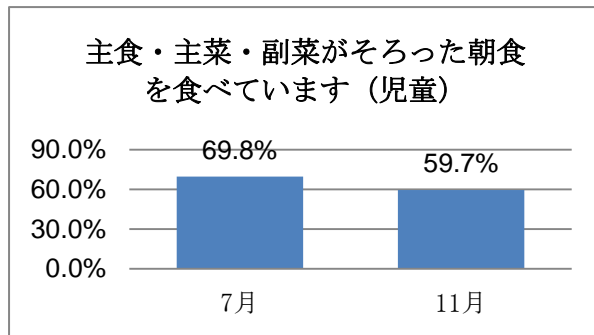


・7月に比べて11月の方が数値が上がっていた。
また、年に2回実施した生活リズムアンケートの結果では、朝食は食べているが、「パンしか食べられなかった」「赤・緑・黄色の食べ物がそろっていなかったため、×にした」と回答した児童もおり、望ましい朝食内容について理解している児童が多い。

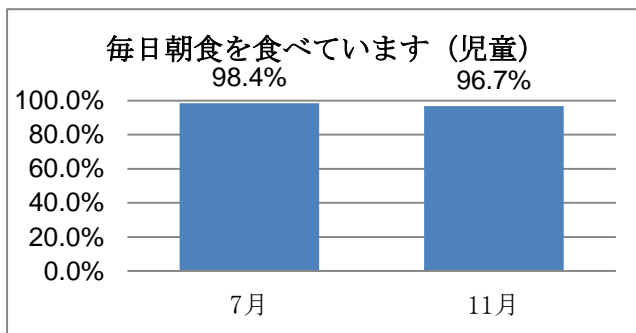


・7月に比べて11月の方が数値が上がっており、保護者も朝食について関心を持っている。

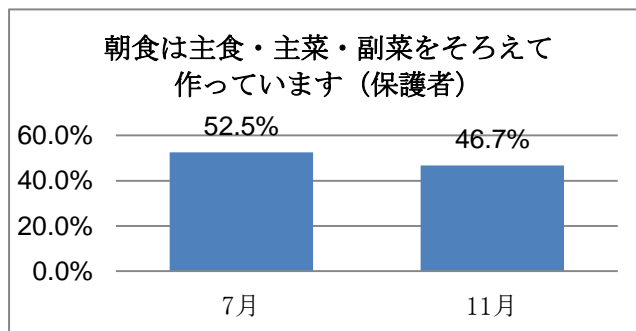
【課題】



- ・ 7月に比べて、11月の数値が下がっており、今後は実際に朝食を準備する保護者へ簡単に作ることができる朝食の資料提供等の啓発を行う。



- ・ 朝食を食べていない理由については、「食欲がない」「時間がない」と回答した児童がおり、今後は朝食の内容に加えて、朝食をより良く食べるために早寝・早起きが必要であることを指導していく。



- ・ 朝食の大切さや関心を持っている保護者は多いが、栄養バランスを考えた朝食を準備している割合は低いいため、学校だより等に朝食について資料を掲載するなど、情報提供を行い、啓発をしていく。

6 今後の取組に向けた改善方策について

食育掲示板を活用し、児童へ望ましい朝食内容についての情報提供を行い、自分で選択できるように知識を深める。保護者については、朝食レシピを掲載した資料を配付する等を行い、保護者へ情報提供をする。